

よみがえれ
長良川

河口堰問題 年表と資料

2025年増補版

Free
the
Nagara
River

よみがえれ長良川実行委員会

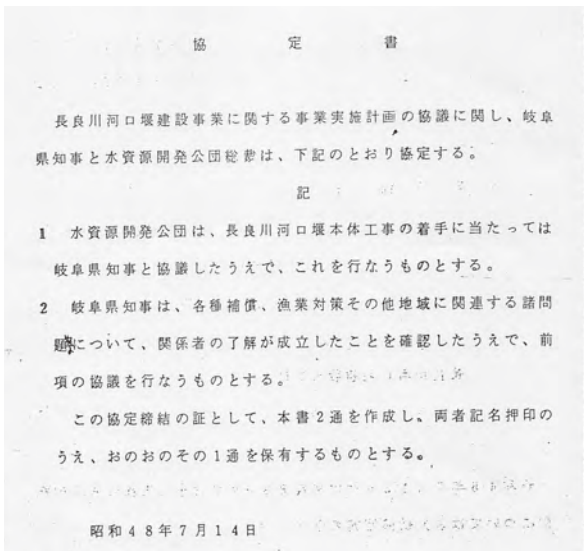


長良川河口堰の前史，調査開始，計画決定

長良川河口堰と関連の年表

1963	1962	1961	1960	1959	1957	1950
11	5	6	8	9	3	5
7	11					
4						
9						
11						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						
9						
11						
7						
4						

1973	1972	1971	1970	1968	1967	1965	1964
7	3	1	10	7	4	3	7
建設大臣が長良川河口堰事業実施計画を認可 岐阜県知事と水資源開発公団総裁が「岐阜県知 事と協議の上、堰本体工事に着工する」と協定	本曾川水系水資源開発基本計画全部変更（第二 次フルプラン、85年目標）、阿木川ダム・味噌 川ダム・徳山ダムを追加	水資源開発公団、長良川河口堰建設所設置	尾孝和著） 「長良川河口ゼキ建設計画を告発する」発行（松 環境庁発足 長良川河道の浚渫を開始 環境庁発足	指示 建設大臣が公団に長良川河口堰事業実施方針を 指示	水資源開発公団、長良川河口堰調査所設置	ラン、75年目標）を閣議決定。本曾川総合用水 （岩屋ダム）・三重用水と、長良川河口堰が供給 施設となる	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始
中部地建「長良川河口堰調査報告書」（昭和41 年度改訂版、部外秘） 岐阜県平田町、海津町各議会でも河口堰反対決議	水資源開発促進法により、（利根川水系等より 遅れて）本曾川水系を水資源開発水系に指定	木曾三川協議会「木曾三川水資源開発計画」	木曾川水系水資源開発基本計画（第一次フルプ ラン、75年目標）を閣議決定。本曾川総合用水 （岩屋ダム）・三重用水と、長良川河口堰が供給 施設となる	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始
水資源開発促進法により、（利根川水系等より 遅れて）本曾川水系を水資源開発水系に指定	木曾川水系水資源開発基本計画、長良川では総体 計画の基本高水を継承して、上流ダム群（板取 ダム）と河道浚渫および河口堰を位置づけ、河 口堰については「水産業等に及ぼす影響を十分 配慮し工事を実施する」	水資源開発促進法により、（利根川水系等より 遅れて）本曾川水系を水資源開発水系に指定	木曾川水系水資源開発基本計画（第一次フルプ ラン、75年目標）を閣議決定。本曾川総合用水 （岩屋ダム）・三重用水と、長良川河口堰が供給 施設となる	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始	水資源開発公団、河口堰事業実施計画調査開始



1988

2

赤須賀など三漁協が河口堰建設に同意



関市の長良川支流の今川で1967年から30年間にわたり登落ち漁で魚の調査をされた後藤宮子さん

1987

6

長良川河口堰に反対する市民の会、「川吠え」最終号（160号）



4

三重県の工業用水の河口堰と木曽川総合用水各2³m³/秒を愛知県と名古屋側市側に転用を決定

1986

3

長良川漁業対策協議会（県内7漁協）が水資源公団と河口堰建設に伴う漁業協定を締結

87年にかけて木曽川濁水、成戸維持流量を50↓40³m³/秒に引き下げて取水



4

岐阜市、桑名市、海津町などの住民および市民団体約20名が、水資源開発公団を相手に長良川河口堰建設差止訴訟を岐阜地裁に提訴（新訴、94年7月棄却、名古屋高裁控訴棄却98年12月）



1982

3

高須輪中水防事務組合損害賠償請求事件（水防組合の建設省、県幹部への芸者接待）について住民訴訟提起（83年11月岐阜地裁、86年2月名古屋高裁、89年9月最高裁でも違法判決）

1981

3

河口堰建設事業差止請求訴訟、岐阜地裁原告全員が取下げ

11

流域7漁協のメンバーによる河口堰建設差止仮処分申請取り下げ



9

名古屋水道第8期拡張事業第1期拡張工事事業を見直し、以降、給水能力は増やしていない



1980

2

三重県「北勢地域における水需要予測調査」が工業用水の需要を見直し



市民の会主催の「市民学校」で講師をつとめる松尾孝和さん

「どてこん」で実物の鵜を使って鵜飼の説明をする山下善平鵜匠

7

長良川河口堰本体工事起工式

「長良川河口堰に勝手に反対する会」(新村安雄など) 発足。「長良川河口堰建設に反対する会」と淡水魚保護協会が朝日新聞岐阜県に意見広告。岐阜県板取村で「河川湖沼と海を守る全国会議」開催。板取川には河口堰絡みの調節ダム(500t分)が計画されていた。地元の運動で中止。岐阜県郡上郡八幡町の「長良川水系・水を守る会」発足、岐阜市で「河口堰に反対する国際シンポジウム」開催

11

海支部」発足

12

岐阜市で「長良川を愛する会」発足

三重県桑名市で「桑名と長良川河口堰を考える会」が活動再開

3

中部地建が東海5紙に「地域を水害から守る浚渫と長良川河口堰」の意見広告を掲載

岐阜県と三重県で「長良川河口堰に反対する会」の各支部発足。以後全国に続々と支部が誕生。建設現場の三重県長島町で「長島・河口堰を考える会」発足

4

長良川沿岸市町村に「長良川河口堰建設を進める会」発足

5

日本魚類学会が建設大臣に建設中止を求める要望書を提出。日本野鳥の会・日本自然保護協会・日本陸水学会・日本生態学会なども同様に提出。反対派のシンポジウム「89長良川シンポジウム」が八幡町で聞かれ、カヌーで郡上八幡から建設現場まで水上抗議デモ

7

長良川河口堰建設促進高須輪中総決起集会が8百人の参加で開催

11

墨俣町、平田町各町議会が建設促進の要望決議。9月に柳津町、10月に安八町議会も同様の決議。長島町で反対派による第1回「長良川DAY」

12

長島町議会、立田村議会などで建設推進決議。超党派国会議員「長良川河口堰問題を語る会」発足。「河口堰に反対し、長良川を守る岐阜県民の会」発足



「河口堰に勝手に反対する会」の新村さんたちが郡上から建設現場まで泳いで下る。起工式当日、5.4kmの予定地点で市民の会の会員が出迎える。

長良川ネットワーク

なぜ長良川河口堰に反対するのか

川に心のふるさと
海も流域の土に表しく

楽しい釣りで
自然をキャッチ

上州屋

藤本歯科

長良川「バヨリ」

長良川河口堰の建設は
今年中に中止せよ

会員のみなさん

長良川河口堰の建設は今年中に中止せよ

'89長良川シンポジウム

5月3日・4日 岐阜県郡上郡八幡町・総合文化センター

日本の川は
今世紀限りですか?

長良川シンポジウム

日本自然保護協会「長良川河口堰問題専門委員会」発足

2 建設省河川局「長良川河口堰について」を公表
長良川下流治水連絡会議（13市町村、岐阜卓市
長が会長）の提言

3 日本野鳥の会、水資源開発公団総裁に「工事の中止と護岸工法の改善を求める要望書」を提出郡上漁協郡上支部の有志、補償金受け取り拒否の署名活動開始

岐阜県庁で水資源開発公団と長良川流域の漁協との漁業補償協定調印

4 学者・研究者により「長良川河口堰問題を考える研究者の会」発足

5 市民グループら「長良川河口堰建設に反対する流域連絡協議会」発足

岐阜県市町村総会、早期完成を求める特別決議
東京で市民グループによるデモ（全国から8千
人参加）とシンポジウム。

7 三重県桑名市で「伊勢湾台風不忘の会」発足

8 「長良川河口堰問題を考える研究者の会」により「国際シンポジウム90」開催

日本自然保護協会が「長良川河口堰事業の問題点・中間報告」を発表

10 東海四県連合町村議会長が河口堰早期完成決議
建設省河川局「長良川河口堰について」を公表
流域連絡協議会、岐阜市議会に9.3万人の署名を
提出

11 「岐阜県自然環境保全連合」により「長良川下流域生物相調査団」発足

12 北川石松環境庁長官が現職閣僚としては初めて
現地を視察、「長官見解」を発表、環境影響調
査の追加実施を建設省、公団に求める

「長良川河口堰を語る会」が河口堰反対の署名を海部首相に提出

WWF・日本委員会が「建設の一旦中止と環境アセスの実施を求める要望書」を建設大臣と公団総裁に提出

促進決議狀況

[illegible]

陳 情 書

大川、長良川、淀川と本郷三山川は、流域に大なる位置をもたせてきた。水害
 の頻りに被害の地帯に及んでしまった。私欲によって本郷三川の堰堤は、次第
 づきの増高でその歴史をたててきた。
 徳川の先人は、本郷三川の治水に心を注いでいた。本郷三川では有名なたけ
 塚の守道翁から、多くの犠牲者を出した大治洪水工事による堰堤被害を経て、近江法
 橋の元虎による築堤改修、そしてその後の治水事業と又同と治水への努力が
 たてられている。
 以上が、本郷三川の中で、長良川は昭和44年9月9日、昭和45年8月、昭和46
 年3月、昭和47年3月とたびたび大水害を起してあり、長良川の治水は本郷
 三川では最も遠くまで、長い年月にわたる戦慄である。長良川河口堰は、長良川
 の治水に、長良川の治水事業の中で、向うききものである。長良川の堰堤が
 決裂の憂念となつてゐる。
 さて、長良川河口堰によって増強される水害源は、今後も確実に増え続ける中世
 的災害に對するものである。また、昔年のように増強する害源に對する治水対策こ
 のないものである。
 以上を見て、一日も早く洪水の増強に地味づきの実施のため、長良川河口堰
 の増高と堤防の増高と堤防の増高の推進につれて特別の高層堤防を興うこと川
 口堰を代用して増強する。

平成元年8月3日

長良川河口堰の建設を進める

[illegible]

接点が得られるか？ 激突の場か？
初の県民公開の場で推進派、反対派が一堂に会して…。

シンポジウム
「改めて問う長良川河口堰」

「河口堰」は長良川流域の治水と農業用水の確保のために建設されたもので、長良川と支流の長良川右岸川を人工的に繋ぎ合わせることで、洪水の被害を軽減し、農業用水の確保を図る。しかし、近年では環境問題や観光開発との兼ね合いで、その必要性や建設の是非が議論されている。今回のシンポジウムでは、推進派と反対派の両方から意見を述べ、今後の長良川河口堰のあり方について議論する。

とこ 9月8日土 午後2時～5時
岐阜市文化センター 2階小劇場
(岐阜市金沢1-7 TEL:0578-62-6303)

●パネリスト
稲垣 隆雄 岐阜大学名誉教授
山田 浩司 岐阜大学名誉教授
山田 浩司 岐阜大学名誉教授
山田 浩司 岐阜大学名誉教授
山田 浩司 岐阜大学名誉教授
山田 浩司 岐阜大学名誉教授

●司会
水野 昌文 岐阜大学名誉教授 (山田浩司氏 司会進行)

主催 岐阜県岐阜市自治研究センター
後援 岐阜市文化センター TEL:0578-62-3138

入場無料
長良川河口堰の建設の是非が争点となるシンポジウムです。

990年9月8日，岐阜県地方自治研究センター主催

[illegible]

東京で河口堰反対デモに全国から5千人参加
「長良川河口堰建設一時中止を求める郡上八幡
住民連絡会」発足

「桑名と長良川河口堰を考える会」が「歌と映画のシンポジウム」

「長良川DAY河口堰を止める10万人のアクション」開催

岐阜市で「ぐるうぷ長良川」、住民投票を求める直接請求へ、12月には2.2万人を集める

岐阜町村長会が河口堰の早期完成を特別決議
愛知、岐阜・三重の学者ら2,207人が、建設
の一時中止とアクセス実施で各県・名古屋市の首
長・議長に要請書を提出

河口堰の追加調査を開始

「河口堰建設工事の中止を求める勧告書」をW
WF・英国委員会が海部首相あてに送付

桑名市・岐阜市・八幡町・長島町・名古屋市で
連続シンポジウムを開催

東京で河口堰建設反対のデモ（全国から8千人）

建設省が国会答弁で「長島町の塩害の事実はない」と認める

「長良川下流域生物調査団」が「工事の一時中止と環境アセスメントの実施」を建設省と環境庁に申入れ

「長良川河口堰を認めない愛知の会」発足

岐阜市での住民投票条例直接請求、議会で否決

社会党建設部会が現地視察、愛知・岐阜・三重の社会党地方本部が、工事の一時中断と環境アセスの実施の統一見解を発表、各県知事に提出
長良川河口堰研究会シンポジウム「長良川河口堰建設と環境・防災・事業アセスメント」開催
日本自然保護協会の専門委員会が「長良川河口堰事業の問題点・第2次報告書」発表

ワシントン条約締結国会議が京都で開催。国内
外の環境NGO28団体が「建設即時凍結」の共
同声明発表

建設省が「長良川河口堰に関する追加調査報告書」を発表、「おおむね問題なし」

建設省「長良川河口堰に関する技術報告」

[illegible]

日本中の自然を守る人、大集合

10/6 SUN 巨大デモ決行

長良川河口堰建設一時中止・東京デモ

3年前、建設が始まると同時に自然した長良川河口堰反対運動は「一つの川を守る運動」ではなく、「3万本もの川の司ニポン」に、長良川のような川がないのはおかしいから、建設省への疑問提示の運動として、北海道から九州まで、いっしょの輪となって広がってきました。しかし、その間にも、建設省は、世論の反押しを押し切り、建設を強行しており、現在、工事は、13本のピア(堰柱)のうち、5本を完成させています。今私達は、秋の本格的な本体工事再開までに、なんとしても半分以上の工事の進行をストップさせるために、今月の自然保護運動、各都道府県、そして協力して下さるすべての人々に、いまだかつてない巨大デモの決行を呼びかけます。

1991年10月6日、無秩序な環境開発への「怒の抗議」の建設省にぶつけ、自然を愛する気持ちを思う存分表現する、あなたの近元の自然を守り、そして、潮沢の長良川を救う最大のデモに、家族・恋人・友人・知人などすべての人を通して駆けつけてください。

第3期1.市町間直前、いまだ決着の時、

「スケジュール」

- 日 10/06(日) 日
- 集合時間・東京駅23時頃
(東京駅西口バスビルを以て)
- 集合開始/11:20
- 集合開始/12:00
- デモ出発/14:00
- デモコース
- 芝公園2号地へ(池ノ門・新橋→
- 有楽町線→東京駅八重洲口→
- 有明橋(有明駅) (全行程約5km)

(交通)

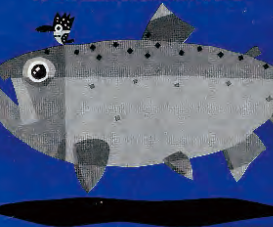
- 有明橋下車徒歩3分
- 有明橋、地下車徒歩5分
- 日比谷線
- 有明橋、地下車徒歩10分
- 有明橋、有明駅について
- 路線: 有明線
- 乗車: 有明線
- 乗車: 有明線(全日)
- 乗車: 10:00
- 乗車: 11:00
- 乗車: 12:00

参加費無し。作家、俳優、ミュージシャン、学者……
関わりのあるすべての人たちが集まれ!

お問い合わせ先 (長良川河口堰建設に反対する会) 会 123(03)554-4-0471

NAGARA GAWA DAY

河口堰を止める10万人のアクション



「河川民権」

4月29日午後2時
河口堰建設現場周辺のアクションエリアへ集結。
みんなで抗議の創造的アピールを!!

参加の宗派は問いません。年齢も問いません。

男女は問いません。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。河川民権の活動は「河川民権」の活動です。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。

参加の宗派は問いません。

男女は問いません。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。



参加の宗派は問いません。

男女は問いません。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。

河川民権の活動は「河川民権」の活動です。

[illegible]

1993

7 岐阜市「長良川河口堰自主市民投票」反対75%
東京で「訊け！足元の声を・長良川河口堰建設
反対デモ&環境フェスティバル」に3千人参加
土木学会が長良川河口堰にかかわる治水計画の
技術評価を「おおむね妥当」と発表
10 日本環境会議四日市・河口堰問題分科会
長良川DAY・「国際河川環境会議・ダムサミッ
トin長良川」「救え長良川・世界行動DAY」
11 長良川河口堰建設をやめさせる市民会議、発足
建設省と反対派市民団体との話し合いが実現
建設省が94年度で完成、工事費、1,840億円に
12 (完成時には1,492億円に、治水に転嫁した)

2 中部弁護士連合会公害対策環境保全委員会が
「河口堰は治水にマイナス」などの報告書

3 85年の目標年を過ぎていた**木曾川水系フルプラ
ン変更**(2000年目標)、大幅見直しも、なお
需要増加を予測
6 水郷水都全国会議緊急大会・長良川

8 **非自民・細川護熙連立内閣**が発足、五十嵐建設
大臣が予算要求見直しを発言
9 郡上八幡で長良川清流カレッジを開始

10 長島・河口堰連絡会、ハンガーストライキ
反対派集会「日本の川を問うNAGARAGAWA
DAY 93」長良川河川敷で開催(1万人が参加)

12 「長良川河口堰建設に反対する会」建設省前で
デモ、事業停止と大臣視察を求める要望書提出
五十嵐建設大臣が現地視察「一年間をかけて環
境・防災・塩害の調査のあとに運用を判断」
自然保護協会と研究者団体による「長良川河口
堰モニタリング調査グループ」が発足
朝日新聞「88年着工時、水位計算、裏付け数値
なし」記事を掲載

2 五十嵐大臣が「平成六年度河口堰建設事業の進
め方について」を発表、学識経験者による調査
委員会の指導を得ながら公開で調査を実施、結
果も公表するとコメント

3 東京九段会館で長良川大言論大会・「長良川河
口堰を問う」開催(やめさせる市民会議主催)
専門家、学識経験者による長良川河口堰調査委



岐阜地裁第43回公判, 1993年9月1日, 山内証人調べ
(長良川下流域生物相調査団)
左から村瀬夫妻, 在間弁護士, 久徳高文さん, 山内克典先生,
高橋恒美さん

	推進する	一時凍結, 調査実施	中止すべき	分からない	その他	無回答	調査主体
八幡町	13.6	54.6	30.9	-	-	0.9	NHK
岐阜市	11.5	55.9	32.6	-	-	0.0	NHK
	13.0	44.0	32.4	10.6	-	-	自治研 (90)
	7.3	70.3	-	22.4	-	-	自治研 (91)
安八町	10.6	42.4	37.6	9.4	-	-	自治研 (90)
	15.7	68.6	-	15.7	-	-	自治研 (91)
海津町	54.0	37.3	8.4	-	-	0.3	NHK
	46.8	31.2	16.9	5.2	-	-	自治研 (90)
長島町	24.6	46.6	27.2	-	-	1.6	自治研 (91)
	14	39	23	19	2	2	中部・長島
東海三県	10	46	22			22	朝日新聞

長良川河口堰についてのアンケート調査の比較

NHK：郵送回収 1市3町1,920人 回答1,174人 61.1% 1991年11月

岐阜県社会党本部・自治労岐阜県本部・岐阜県地方自治研究センター：郵送回収 選挙人名簿 無作為抽出 1市2町
2,000人 回答379人, 19.0% 1990年8~9月

同：電話帳, 電話質問 1市2町 700人 回答535人, 1991年11~12月

中部の環境を考える会, 長島・河口堰を考える会：訪問面接 全所帯 4,091戸 回答2,331戸 57% 1990年12月

朝日新聞：電話質問 選挙人名簿, 層化無作為二段階抽出法 三県, 3,200人 有効回答1,882人 1990年10月



員会発足、調査開始

桑名・しじみプロジェクト開始

4

市民グループが「試験湛水中止」を建設大臣と公団に申し入れ、船上ストに突入。長良川漁業対策協議会が「試験湛水の延期」を申し入れ

建設大臣と市民会議が話し合い、試験湛水延期と期間短縮を確認。船上スト終息

5

ダニエル・ビアード米関墾局総裁「アメリカにおけるダム建設の時代は終わった」と宣言

6

超党派の国会議員による「公共事業チェック機構を実現する議員の会」発足

自民、社会、さきがけ連立内閣発足、野坂浩賢（社会党）建設大臣が就任

7

ラムサール条約 COP5 釧路会議開催

12

6月、9月にかけ全国的な大渇水、木曽川水系では農業用水の転用で対応

岐阜地裁で建設差止訴訟（新訴）判決、原告の請求を棄却、名古屋高裁に控訴

11

長良川 DAY・「ダムサミット in 長良川」・「全国河川代表者会議」開催

9

日本弁護士連合会が「長良川河口堰問題チーム」を発足させ現地視察

12

野坂建設大臣が現地を視察、推進、反対両派の市民からの意見を聴取、成田空港問題で採用した「円卓会議」開催の意向を表明

3

長島町で長良川河口堰に関する円卓会議を開始

6

4月まで計8回、長島町公民館などで「防災」「水需要」「環境」「塩害」をテーマ

5

野坂建設大臣が本格運用を延期する見解を発表し「円卓会議」の1カ月延長を表明

4

長良川河口堰建設事業完成（31日）、野坂大臣に河口堰調査の最終報告

5

「市民会議」は円卓会議の継続を求める

6

野坂大臣が関係三県と市町村から意見を聴取、円卓会議共同報告会開催

7

22日、野坂大臣「長良川河口堰を5月23日より本格運用」と記者発表

6

野坂大臣が「ダム事業に対する評価システム」新設する方針を決定。ダム等事業審議委員会の設置を準備

7

梅雨の洪水後、6日、ゲートが下りて運用開始

3

長良川河口堰建設差止請求訴訟

3.長良川河口堰建設差止請求訴訟

提訴：1982年4月

（原告）長良川流域の岐阜県と桑名市の住民 20人 （被告）水資源開発公団

河口堰の1995年3月の完成後、「堰ゲートを閉鎖してはならない」を請求し追加
岐阜地方裁判所 判決言渡 1994年7月（請求棄却）
名古屋高等裁判所 判決言渡 1998年12月（控訴棄却）上告せず

事業の説明・河口堰の建設論理（建設理由）

河口堰建設事業差止請求訴訟と同じである。

但し、利水計画は、三重県の工業用水 2 ml/s が愛知県に移譲され、1993年の第Ⅲ次木曽川水系フルプランでは、目標年が2000年となった。

主な争点

（長良川河川の流下能力）

原告：地盤沈下、砂利採取と河道改修で、7,500 ml/s 流下時の洪水水位は計画高水位を約25～30 km 地点で最大 20～30 cm 上回るだけになった。この区間の粗度が大きく流れにくいことが最大の原因である。15 km 地点付近のマウンドを除去する波濤が必要がなくなった。

被告：河積増加量は最後まで明らかせず。洪水水位を下げるためにはマウンドを除去する波濤が必要である。

（塩害予測）

原告：被告の河川水の弱混合（塩水機）時の塩分濃度予測は上層淡水、下層海水の濃度勾配のない二層である。長良川の実測の弱混合時の塩分濃度は河川縦断方向でも濃度勾配があり、予測はこれと合致しておらず、被告の塩分濃度、塩害予測は過大である。実際の河川水の塩分濃度分布に基づけば、地下水の塩分濃度は塩害を起こさない濃度である。

被告：河川水の塩分濃度、弱混合時は上層淡水、下層海水の密度の異なる二層流として計算して求め、これに基づいて境内の地下水と土壌の塩分濃度を求めた。

（利水上の必要性）

原告：工業用水は需要量が減少し、水道用水は需要量の増加が鈍化しており、既に完成した岩屋ダムで大幅な水余りとなっている。河口堰からの供給は不要である。河口堰は目標年に発生する需要のための施設であって、異常渇水対策施設ではない。

被告：平6渇水のような異常渇水のときに、河口堰が必要。

裁判所：以上について、権利侵害と関係がない事項として、判断せず。

（環境悪化）

原告：堰の完成により、堰下流で、表層を堰からの河川水、低層を海からの塩水が流れる循環流が河口と堰との間で形成され、貧・無酸素の氾（ヘドロ）の堆積が進行しており、ヤマトシジミの生息が損なわれている。堰上流では、約30 km 地点まであった汽水域が消滅し、夏季を中心に藻類の大増殖が起こり、増殖期間も長期化し、底層の溶解酸素量の低下も著しい。汽水性、回遊性の種を中心として生息魚類種が著しく減少している。アユ、サツキマスの漁獲量が低下している。常時水没により広大なヨシ原が大きく衰退している。

裁判所：堰運用開始後、大幅な水質の悪化、ヘドロの大量堆積による死水域の大幅な拡大、魚類の越冬の極端な減少、ヨシ等の激減などの発生は認められない。将来、右のような著しい自然環境破壊の結果が生じることを具体的に予見することはできない。

現在の状態

堰下流で、貧・無酸素の氾（ヘドロ）が堆積して、生物が生息できない状態になっている。堰上流では、夏季を中心に、底層の溶解酸素量の低下が著しい。生息魚類種が著しく減少した。アユは人の助力がなければ個体数の維持が困難になっている。広大なヨシ原が殆ど無くなった。

会議のあり方 論議集中

長良川河口堰 第2回円卓会議

座長「来月も継続を」

長良川河口堰建設差止請求訴訟

原告：長良川流域の岐阜県と桑名市の住民 20人

被告：水資源開発公団

河口堰の1995年3月の完成後、「堰ゲートを閉鎖してはならない」を請求し追加

岐阜地方裁判所 判決言渡 1994年7月（請求棄却）

名古屋高等裁判所 判決言渡 1998年12月（控訴棄却）上告せず

原告：地盤沈下、砂利採取と河道改修で、7,500 ml/s 流下時の洪水水位は計画高水位を約25～30 km 地点で最大 20～30 cm 上回るだけになった。この区間の粗度が大きく流れにくいことが最大の原因である。15 km 地点付近のマウンドを除去する波濤が必要がなくなった。

被告：河積増加量は最後まで明らかせず。洪水水位を下げるためにはマウンドを除去する波濤が必要である。

（塩害予測）

原告：被告の河川水の弱混合（塩水機）時の塩分濃度予測は上層淡水、下層海水の濃度勾配のない二層である。長良川の実測の弱混合時の塩分濃度は河川縦断方向でも濃度勾配があり、予測はこれと合致しておらず、被告の塩分濃度、塩害予測は過大である。実際の河川水の塩分濃度分布に基づけば、地下水の塩分濃度は塩害を起こさない濃度である。

被告：河川水の塩分濃度、弱混合時は上層淡水、下層海水の密度の異なる二層流として計算して求め、これに基づいて境内の地下水と土壌の塩分濃度を求めた。

（利水上の必要性）

原告：工業用水は需要量が減少し、水道用水は需要量の増加が鈍化しており、既に完成した岩屋ダムで大幅な水余りとなっている。河口堰からの供給は不要である。河口堰は目標年に発生する需要のための施設であって、異常渇水対策施設ではない。

被告：平6渇水のような異常渇水のときに、河口堰が必要。

裁判所：以上について、権利侵害と関係がない事項として、判断せず。

「水需給」結論です

河口堰の水需給をめぐっての争点

原告側	被告側	促進市民	反対市民
原告側 水需給 長良川河口堰建設差止請求訴訟	被告側 水需給 長良川河口堰建設差止請求訴訟	促進市民 長良川河口堰建設差止請求訴訟	反対市民 長良川河口堰建設差止請求訴訟

完成から、現在までの30年

河口堰上流部にあるマウンドの浚渫開始（97年7月完成）

建設省の「長良川河口堰モニタリング委員会」が発足、（運用後5年間にわたる）防災、環境等の調査を実施。

反対派市民・学識経験者による「長良川監視委員会」も発足

長良川河口堰運用にともなうモニタリングおよび環境への影響などについて「新しい対話」が始まる

日本自然保護協会と研究者たちによる「長良川研究フォーラム」開催

長良川DAY・長良川監視DAY開催

徳山ダム事業審議会開始（97年）

日本自然保護協会と長良川下流域生物相調査団などが「第3次報告書」を発表

反対派市民団体による「長良川DAY国際河川環境会議・ダムサミット in 長良川」開催

河川法改正、「河川環境の整備と保全」、河川整備計画について地域住民などの意見を反映させるなど、長良川河口堰事業の教訓も踏まえる

建設省が未着工の10ダムの事業中止を発表

シンポジウム「長良川河口堰運用2年後・被害と現状を考える」を長島町で開催

河口堰上流のマウンド浚渫完了

長良川DAY・「国際シンポジウム・世界水資源会議」

愛知県が「矢作川河口堰の水利権を全面的に返上する」と発表

愛知県、知多半島へ給水する長良導水取水開始、三重県中勢地域へも水道用取水開始（北伊勢工業用水道の長良川取水口を併用）

長良川河口堰公金支出差止請求住民訴訟（愛知県）「だからいったじやないの訴訟」名古屋地裁01年3月請求棄却、名古屋高裁02年2月控訴棄却、最高裁03年3月上告棄却）
名古屋高裁で建設差止訴訟請求を棄却

4. 長良川河口堰公金支出差止請求住民訴訟（愛知県）

提訴：1998年9月

（原告）愛知県民34人 （被告）愛知県知事

名古屋地方裁判所：判決言渡 2001年3月（請求棄却）
名古屋高等裁判所：判決言渡 2002年2月（控訴棄却）
最高裁判所：2003年3月上告棄却決定

事実の説明

河口堰の建設費は約1500億円、利水用途の事業費用割振り割合628/1000と水量により、各利水毎の建設費負担額が決める。そこから国庫補助等を差し引いた残額を水資源開発公団が財政投融資から借り入れ、順完成後に利水者が23年で償還する。愛知県の工業用水8.39 m/sの建設費負担額は約349億円で、水資源開発公団への償還金負担額は約500億円・毎年約22億円である。工業用水道事業は、地方公営企業として料金収入による独立採算制であり、特別会計が設けられていて、水源施設の費用負担金はそこから支払われる。河口堰の工業用水の償還金負担金は、全額が一般会計から工業用水事業特別会計に長期貸付による繰入をして、水資源開発公団に支払がされている。

一般会計から工業用水事業特別会計へ繰入は、需要の見込みがなく事業化の可能性のないものについての支出で違法であるので、その差止を求めたもの。建設差止請求訴訟で事業の必要性について判断がされなかったため、起こした。河口堰の工業用水の需要がないことは既に明らかであり、「だから言ったじやないの」訴訟・愛知と通称している。

（主な争点）

原告：愛知県の工業用水の需要は減少傾向であり、岩屋ダム等の既存水源で休止事業もあるような供給過剰である。河口堰の愛知県の工業用水8.39 m/sは、需要がなくて事業化の可能性はなく、元金はおろか利息の支払いもできない。2010年における尾張地域の工業用水0.2 m/sの需要はアライバ作りのものに過ぎない。

被告：工業用水の需要動向は常に過去と同一の傾向をたどるものではなく、愛知県では、中部国際空港の開港、第2東名・名神高速道路の開通などにより、一層の経済の発展が期待でき、工業用水の需要は着実に増加する。

裁判所：河口堰の工業用水の需要見込みは再三下方修正され、2010年において需要が見込めるのは尾張地域の0.2 m/sに過ぎないもので、さらに下方修正される見込みはないとはいえない。しかし、中部国際空港の開港、第2東名・名神高速道路の開通などにより、水需要が増えるとの見方もあり、工業用水の需要が見込めないと断言することは困難であり、回収の見込みがないと断言することもできない。

訴訟終了後の事態

訴訟確定翌年の2004年に水曾川水系フルプランIV次改定が行われた（目標年2015年）。愛知県は、上記の自らの主張と裁判所の判断にもかかわらず、河口堰の工業用水8.39 m/sについて、5.46 m/sを、尾張地域の水道用水の2015年の需要に対する近年220年度最低水準のよまの供給可能な補充水源（つまり通常は使わない）に転用し、残り2.93 m/sは需要の見込みがないとして、放置することにした。尾張地域の水道用水は、河口堰を補充水源としたものの、現在、河口堰からの供給はなされていない、それがなくても供給可能な状態である。



2006

11

新河川法による**木曾川水系河川整備基本方針**、
長良川は04年洪水を基準として基本高水8,900
m³/秒、計画高水8,300m³/秒

2005

3～9

自然の叡智をテーマとした愛・地球博開催

23号台風で、長良川では既往最大の出水(8,000
m³/秒)、上中流部では激甚な被害がでたもの
の、下流部では洪水が流下した

2004

3

木曾川水系フルプラン変更(15年目標)、徳山
ダムの事業費が超過、10年に1回と既往最大濁
水(94年)の「安定供給可能量」を引き下げ

12

徳山ダム本体着工(08年完成)

10

長良川DAY・国際シンポジウム「公共事業、
世界の潮流・日本の逆行」開催

2000

7

長島町でシンポジウム「長良川河口堰運用5年
目・被害の実態を科学が問う」開催

9

9月10日～12日にかけて**東海豪雨**

3

建設省「長良川河口堰モニタリング委員会」が
5年間にわたるモニタリングを終了して解散
最終報告書では防災、環境、塩害などについて
ほぼ順調とされたが、個々の現象の経年的変化
については長期的な観測も必要だと提言

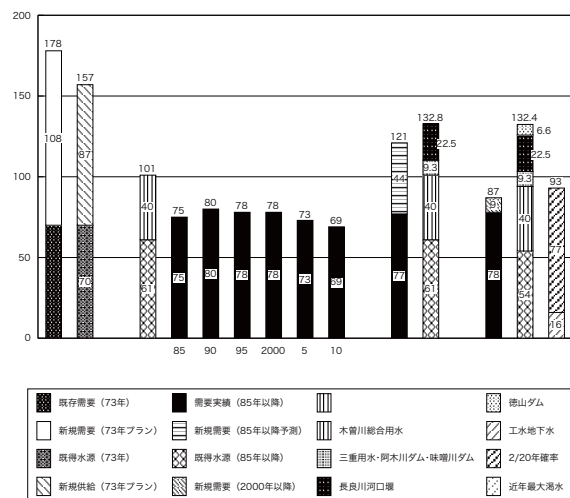
3

徳山ダム事業認定取消訴訟(岐阜地裁03年12月、
名古屋高裁06年7月、最高裁07年2月)
徳山ダム岐阜県公金支出差止請求住民訴訟(同、
名古屋高裁06年8月、最高裁07年11月)

1999

2 1

藤前干潟の埋立計画中止
三重県長良川河口堰公金支出差止訴訟(津地裁
00年1月却下、名古屋高裁00年7月差戻し、最
高裁03年3月上告棄却、津地裁差戻し03年10月
請求棄却、名古屋高裁差戻し05年4月控訴棄却、
最高裁06年3月上告棄却)



木曾川水系フルプランの需要予測と実績のかい離

1973年の第二次のプランの予測が過大で、木曾川総合用水の完成後、水あ
まりとなった。以降も、実績が下がっているが、1993年、2004年度過大な予
測が繰り返され、今年度(2015年)、見直しが行われるだろう。



「公共事業の止め方」サーモン in 長良川DAY, 2002年7月7日



2015	2014	2012	2011	2010	2009	2008	2007
12	7	4	3	6	6	3	12
7	4	11	2	8	5	3	7
4	7	6	10	6	8	3	12
3	4	3	8	8	6	3	7
2	3	2	10	8	5	3	12
1	2	1	8	6	4	2	6
0	1	0	6	4	3	1	4
-1	0	-1	4	3	2	0	3
-2	-1	-2	3	2	1	-1	2
-3	-2	-3	2	1	0	-2	1
-4	-3	-4	1	0	-1	-3	0
-5	-4	-5	0	-1	-2	-4	-1
-6	-5	-6	-1	-2	-3	-5	-2
-7	-6	-7	-2	-3	-4	-6	-3
-8	-7	-8	-3	-4	-5	-7	-4
-9	-8	-9	-4	-5	-6	-8	-5
-10	-9	-10	-5	-6	-7	-9	-6
-11	-10	-11	-6	-7	-8	-10	-7
-12	-11	-12	-7	-8	-9	-11	-8
-13	-12	-13	-8	-9	-10	-12	-9
-14	-13	-14	-9	-10	-11	-13	-10
-15	-14	-15	-10	-11	-12	-14	-11
-16	-15	-16	-11	-12	-13	-15	-12
-17	-16	-17	-12	-13	-14	-16	-13
-18	-17	-18	-13	-14	-15	-17	-14
-19	-18	-19	-14	-15	-16	-18	-15
-20	-19	-20	-15	-16	-17	-19	-16
-21	-20	-21	-16	-17	-18	-20	-17
-22	-21	-22	-17	-18	-19	-21	-18
-23	-22	-23	-18	-19	-20	-22	-19
-24	-23	-24	-19	-20	-21	-23	-20
-25	-24	-25	-20	-21	-22	-24	-21
-26	-25	-26	-21	-22	-23	-25	-22
-27	-26	-27	-22	-23	-24	-26	-23
-28	-27	-28	-23	-24	-25	-27	-24
-29	-28	-29	-24	-25	-26	-28	-25
-30	-29	-30	-25	-26	-27	-29	-26
-31	-30	-31	-26	-27	-28	-30	-27
-32	-31	-32	-27	-28	-29	-31	-28
-33	-32	-33	-28	-29	-30	-32	-29
-34	-33	-34	-29	-30	-31	-33	-30
-35	-34	-35	-30	-31	-32	-34	-31
-36	-35	-36	-31	-32	-33	-35	-32
-37	-36	-37	-32	-33	-34	-36	-33
-38	-37	-38	-33	-34	-35	-37	-34
-39	-38	-39	-34	-35	-36	-38	-35
-40	-39	-40	-35	-36	-37	-39	-36
-41	-40	-41	-36	-37	-38	-40	-37
-42	-41	-42	-37	-38	-39	-41	-38
-43	-42	-43	-38	-39	-40	-42	-39
-44	-43	-44	-39	-40	-41	-43	-40
-45	-44	-45	-40	-41	-42	-44	-41
-46	-45	-46	-41	-42	-43	-45	-42
-47	-46	-47	-42	-43	-44	-46	-43
-48	-47	-48	-43	-44	-45	-47	-44
-49	-48	-49	-44	-45	-46	-48	-45
-50	-49	-50	-45	-46	-47	-49	-46
-51	-50	-51	-46	-47	-48	-50	-47
-52	-51	-52	-47	-48	-49	-51	-48
-53	-52	-53	-48	-49	-50	-52	-49
-54	-53	-54	-49	-50	-51	-53	-50
-55	-54	-55	-50	-51	-52	-54	-51
-56	-55	-56	-51	-52	-53	-55	-52
-57	-56	-57	-52	-53	-54	-56	-53
-58	-57	-58	-53	-54	-55	-57	-54
-59	-58	-59	-54	-55	-56	-58	-55
-60	-59	-60	-55	-56	-57	-59	-56
-61	-60	-61	-56	-57	-58	-60	-57
-62	-61	-62	-57	-58	-59	-61	-58
-63	-62	-63	-58	-59	-60	-62	-59
-64	-63	-64	-59	-60	-61	-63	-60
-65	-64	-65	-60	-61	-62	-64	-61
-66	-65	-66	-61	-62	-63	-65	-62
-67	-66	-67	-62	-63	-64	-66	-63
-68	-67	-68	-63	-64	-65	-67	-64
-69	-68	-69	-64	-65	-66	-68	-65
-70	-69	-70	-65	-66	-67	-69	-66
-71	-70	-71	-66	-67	-68	-70	-67
-72	-71	-72	-67	-68	-69	-71	-68
-73	-72	-73	-68	-69	-70	-72	-69
-74	-73	-74	-69	-70	-71	-73	-70
-75	-74	-75	-70	-71	-72	-74	-71
-76	-75	-76	-71	-72	-73	-75	-72
-77	-76	-77	-72	-73	-74	-76	-73
-78	-77	-78	-73	-74	-75	-77	-74
-79	-78	-79	-74	-75	-76	-78	-75
-80	-79	-80	-75	-76	-77	-79	-76
-81	-80	-81	-76	-77	-78	-80	-77
-82	-81	-82	-77	-78	-79	-81	-78
-83	-82	-83	-78	-79	-80	-82	-79
-84	-83	-84	-79	-80	-81	-83	-80
-85	-84	-85	-80	-81	-82	-84	-81
-86	-85	-86	-81	-82	-83	-85	-82
-87	-86	-87	-82	-83	-84	-86	-83
-88	-87	-88	-83	-84	-85	-87	-84
-89	-88	-89	-84	-85	-86	-88	-85
-90	-89	-90	-85	-86	-87	-89	-86
-91	-90	-91	-86	-87	-88	-90	-87
-92	-91	-92	-87	-88	-89	-91	-88
-93	-92	-93	-88	-89	-90	-92	-89
-94	-93	-94	-89	-90	-91	-93	-90
-95	-94	-95	-90	-91	-92	-94	-91
-96	-95	-96	-91	-92	-93	-95	-92
-97	-96	-97	-92	-93	-94	-96	-93
-98	-97	-98	-93	-94	-95	-97	-94
-99	-98	-99	-94	-95	-96	-98	-95
-100	-99	-100	-95	-96	-97	-99	-96

水循環基本法
愛知県導水路訴訟敗訴、控訴
長良川鵜飼、重要無形民俗文化財指定
岐阜市レッドリストで長良川のアユを、存続基
盤が脆弱な準絶滅危惧種に指定(2023年解除)
トーク&シンポ「よみがえれ長良川」岐阜国際
会議場で開催
清流長良川の鮎、世界農業遺産認定

愛知県導水路訴訟敗訴、控訴

水循環基本法

長良川鵜飼、重要無形民俗文化財指定

岐阜市レッドリストで長良川のアユを、存続基
盤が脆弱な準絶滅危惧種に指定(2023年解除)

トーク&シンポ「よみがえれ長良川」岐阜国際
会議場で開催

清流長良川の鮎、世界農業遺産認定

愛知県長良川河口堰検証プロジェクトチーム、
専門委員会報告書「5年以上の試験開放」提言

専門委員会報告書

愛知県長良川河口堰検証プロジェクトチーム、
専門委員会報告書「5年以上の試験開放」提言

長良川河口堰弾力的運用検討委員会発足

大村・河村共同公約で「河口堰開門調査」
内ヶ谷ダム再検証

内ヶ谷ダム再検証

長良川下流域生物相調査団「調査報告書
2010」の発行をもって調査活動終了

中部地方ダム等フォローアップ委員会 長良川
河口堰定期報告書

生物多様性国際条約 COP10、愛知ターゲット

豊かな川から豊かな海へ 「市民による豊かな
海づくり大会」

海づくり大会

長良川下流域生物相調査団「調査報告書
2010」の発行をもって調査活動終了

中部地方ダム等フォローアップ委員会 長良川
河口堰定期報告書

生物多様性国際条約 COP10、愛知ターゲット

豊かな川から豊かな海へ 「市民による豊かな
海づくり大会」

長良川下流域生物相調査団「調査報告書
2010」の発行をもって調査活動終了

中部地方ダム等フォローアップ委員会 長良川
河口堰定期報告書

全国のだん事業再検証開始

民主党政権成立「コンクリートから人へ」、
訴訟を名古屋地裁に提訴

訴訟を名古屋地裁に提訴

導水路はいらない！ 愛知の会、公金支出差止
で流れよ 長良川

導水路はいらない！

「トーク&コンサート このままで、このまま
で流れよ 長良川」

トーク&コンサート

河村名古屋市長、導水路からの撤退を表明

河村名古屋市長、導水路からの撤退を表明

木曽川水系河川整備計画、30年を期間とし目標
流量8,100m³/秒、河道整備流量7,700m³/秒

木曽川水系河川整備計画、30年を期間とし目標
流量8,100m³/秒、河道整備流量7,700m³/秒

「長良川に徳山ダムの水はいらない！市民学習
会」活動を始める

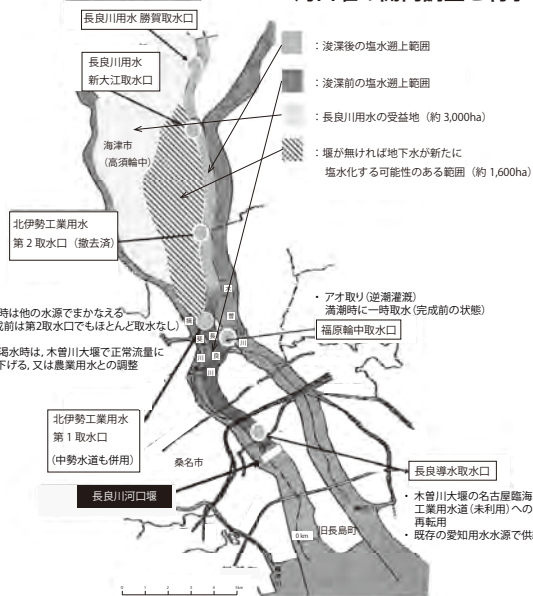
「長良川に徳山ダムの水はいらない！市民学習
会」活動を始める

木曽川水系河川整備計画、30年を期間とし目標
流量8,100m³/秒、河道整備流量7,700m³/秒

木曽川水系河川整備計画、30年を期間とし目標
流量8,100m³/秒、河道整備流量7,700m³/秒

- 農業増産を引き起こす濃度まで塩水が濃くなるか？
- 地下水の塩水化の被害が起こるか？

河口堰の開門調査と利水の代替案



生物多様性会議・COP10の展示会場



2025	2024				2023		2022		2021		2020	2019	2018		2017	2016		2015						
3	9	8	4	3	5	3	2	10	5	3	10	7	5	4	3	11	12	7	6	12	10	1	12	9
新丸山ダム 4100 億円、導水路 2270 億円 令和6年度岐阜県長良川河口堰調査検討会	愛知県最適用検討委員会「釜山広域市訪問」 よみがえれ長良川実行委員会「ナクトンガン河 口堰視察」	愛知県最適用検討委員会「釜山広域市訪問」 よみがえれ長良川実行委員会「ナクトンガン河 口堰視察」	水道事業を厚生労働省から国土交通省に移管 国交省「導水路事業継続」を発表	「韓国・洛東江の先進事例から学ぶ」愛知県最 適用検討委員会・県民講座 「海と川」よみがえれ長良川実行委員会、ぎふ メディアコスモス	名古屋市長が導水路を容認 第8回長良川河口堰の更なる弾力的な運用に 関するモニタリング部会 名古屋市長が導水路意見交換会	韓国ナクトンガン河口堰、常時開門開始 設楽ダム、3200 億円に 内ヶ谷ダム再評価、730 億円に	河川整備計画変更、連絡導水路・上流分割ルー トで、長良川忠節、10 渇水時に20 m3/s、異 常渇水時〔1994〕渇水〕に11 m3/sを確保 美濃市に横越遊水池計画 利根川水系八ッ場ダム完成	流域治水関連法 球磨川大水害 石木ダム差止め訴訟福岡高裁敗訴	河川整備計画変更、連絡導水路・上流分割ルー トで、長良川忠節、10 渇水時に20 m3/s、異 常渇水時〔1994〕渇水〕に11 m3/sを確保 美濃市に横越遊水池計画 利根川水系八ッ場ダム完成	「河口堰開門の世界の先進事例に学ぶ」愛知県 長良川河口堰最適用検討委員会	「河口堰開門の世界の先進事例に学ぶ」愛知県 長良川河口堰最適用検討委員会	台風21、24号の高潮操作時に堰上流に塩水進入 津保川水害 水道法改正、コンセッション方式を導入	2017開門シンポジウム（長良川・諫早・ナク トンガン）長良川国際会議場	伊勢湾流域圏再生シンポジウム（四日市、伊勢 ・三河湾流域ネットワーク他） よみがえれ長良川実行委員会「ナクトンガン視 察と交流の旅」 2017開門シンポジウム（長良川・諫早・ナク トンガン）長良川国際会議場	伊勢湾流域圏再生シンポジウム（四日市、伊勢 ・三河湾流域ネットワーク他） よみがえれ長良川実行委員会「ナクトンガン視 察と交流の旅」 2017開門シンポジウム（長良川・諫早・ナク トンガン）長良川国際会議場	国連サミットで持続可能な開発目標 SDGs 採択 気候変動枠組条約締結国会議（COP21）パリ 協定採択								



よみがえれ長良川実行委員会
「ナクトンガン河口堰視察」2024年9月

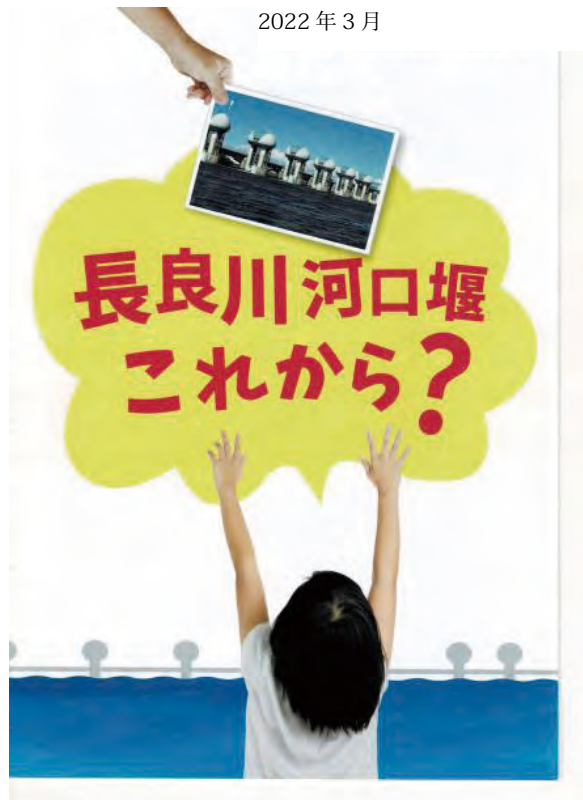


2016年10月よみがえれ長良川実行委員会
「ナクトンガン視察と交流の旅」



2017年12月 2017 開門シンポジウム
(長良川・諫早・ナクトンガン)
長良川国際会議場にて開催

愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会
2022年3月



利根川河口堰：長良川とほぼ同じ1960年代の設計，71年に完成．漁業や環境への影響に配慮して，
26km地点の塩分濃度を基準に部分的に開門されている．
愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会の視察，2023年11月



長良川 国土強靱化事業で、岐阜市鏡島大橋上流での河道浚渫工事
洪水後などで、河道は次第に元に戻り、ムダな工事だった



文献の一覧：岐阜大学地域資料情報センターに所蔵、2015 年のシンポでは資料を展示した。

(<https://www1.gifu-u.ac.jp/~forest/rilc/kakouzekitop.html>)

- ①
 - 1 建設省中部地方建設局 長良川河口ダムの構想 1960 年 1 月
 - 2 新沢嘉芽統 河川水利調整論 岩波書店 1962 年 9 月
 - 3 岐阜県 昭和 34・35・36 年 連年災害復興誌 1965 年 12 月
 - 4 嶋裕之 長良川における塩水楔の消長について（流れの研究）（技報堂）1964 年（1975 年）
 - 5 木曾三川協議会 木曾三川水資源開発計画 1965 年 7 月
 - 6 建設省中部地方建設局企画室・木曾川下流工事事務所 長良川河口堰調査報告書（昭和 41 年度改訂版） 1967 年 3 月
 - 7 （木曾三川協議会）木曾川水系水資源開発基本計画 1968 年 10 月
 - 8 水資源開発公団 長良川河口堰建設事業に関する事業実施計画 1973 年 7 月
 - 9 岐阜県，水資源開発公団 長良川河口堰建設事業に関する事業実施計画の協議にさきだつ協定について 1973 年 7 月
 - 10 建設省中部地方建設局 木曾三川～その流域と河川技術 1988 年 9 月
 - 11 建設省中部地方建設局 木曾三川流域誌 1992 年 3 月
 - 12 建設省中部地方建設局 木曾三川治水百年のあゆみ 1995 年 3 月
 - 13 建設省河川局・建設省土木研究所・水資源開発公団 長良川河口堰に関する技術報告，同補遺 1992 年 4 月，1995 年 3 月
 - 14 土木学会社会資本問題研究会 長良川河口堰にかかわる治水計画の技術評価 1992 年 7 月
 - 15 建設省河川局 長良川河口堰の質問についての回答 1992 年 11 月～1993 年 10 月
 - 16 建設省中部地方建設局・水資源開発公団中部支社 長良川河口堰調査 中間報告書（第 3 巻） 1995 年 1 月
 - 17 水資源開発公団長良川河口堰建設所・長良川河口堰管理所 長良川河口堰工事誌 ながら
 - 18 みずとともに 水資源開発公団 40 年の足跡と新世紀への飛翔 水資源開発公団 2003 年 9 月
 - 19 長良川河口堰調査検討会（岐阜県） 長良川河口堰調査検討会の記録 2007 年 9 月
- 別
 - 1 経済企画庁 木曾川水系における水資源開発基本計画 1968 年 10 月
 - 2 建設省中部地方建設局 木曾川上流工事事務所 木曾三川治水経済調査報告書 1989 年 3 月
- ②
 - 1 松尾孝和 長良川河口ゼキ建設計画を告発する 1972 年 10 月
 - 2 岐阜大学長良川研究会編 長良川 1979 年 1 月
 - 3 長良川河口堰に反対する市民の会 川吠え，No.1～160 1974 年 3 月～1987 年 5 月
 - 4 長良川河口堰建設差止訴訟原告団・同弁護団 長良川河口堰裁判資料集 原告の主張・被告の主張 1994 年 6 月

- 5 長良川河口堰建設差止訴訟原告団・同弁護団 論争・長良川河口堰—長良川河口堰建設差止訴訟控訴審資料集 1998 年 9 月
 - 6 河口ぜき裁判通信 1982 年地裁の一部と 1998 年の控訴審の判決まで
追悼 長良川河口堰裁判原告・村瀬惣一さん～たすきをつないで 30 年 2005 年 4 月 29 日
 - 7 長良川を愛する会編 長良川だより—常識ではわからない河口堰 1989 年 9 月
 - 8 長良川水系・水を守る会 さつきますの本 1998 年 3 月
 - 9 岐阜・2001 年の会 バックナンバー, No.12 ~ 50, 51 ~ 100 1993 年 9 月, 1997 年 11 月
 - 10 長良川河口堰に反対する会他 8 団体 唯一の天然河川・長良川を守れ [資料集] 1989 年 4 月
 - 11 長良川河口堰問題研究会 シンポジウム記録 長良川河口堰建設と環境・防災・事業アセスメント 1993 年 3 月
 - 12 だからいったじゃないの—長良川河口堰住民訴訟通信— 1999 年～2003 年
 - 13 長良川下流生物相調査団 長良川下流生物相調査報告書 1994 年 7 月
 - 14 長良川下流生物相調査団 長良川下流生物相調査報告書 2010 河口堰運用 15 年後の長良川 2010 年 6 月
 - 15 日本自然保護協会, 長良川河口堰事業モニタリング調査グループ, 長良川研究フォーラム 長良川河口堰が自然環境に与えた影響
1999 年 7 月
 - 16 長良川河口堰事業モニタリング調査グループ 長良川河口堰運用 10 年後の環境変化とそれが地域社会に及ぼした影響の解析
2010 年 3 月
- 別
- 3 長良川河口堰問題を考える研究者の会 長良川と河口堰—論文集 1990 年 11 月
 - 4 日本自然保護協会河口堰問題小委員会 河口堰の生態系への影響と河口域の保全 2000 年 7 月
 - 5 山本堯 長良川河口堰に反対し続けて 1995 年 9 月
 - 6 村上哲生・向井貴彦 田中豊穂教授・山内克典教授の長良川河口堰問題に関する寄与 陸の水, Vo.64 2014
- ③
- 1 開発問題研究所編 河口堰—その批判と検証 開発問題研究所 1990 年 9 月
 - 2 開発問題研究所編 検証—長良川河口堰 開発問題研究所 1991 年 4 月
 - 3 開発問題研究所編 続 検証—長良川河口堰 開発問題研究所 1991 年 4 月
 - 4 大田周二 長良川河口堰を考える 人と自然の共生を求めて 現代書林 1992 年 4 月
 - 5 谷村喜代司 長良川河口堰を考える 山海堂 1990 年 12 月
 - 6 関正和 大地の川 甦れ, 日本のふるさとの川 草思社 1994 年 10 月
 - 7 竹内源一 官僚の生き方—私の“公僕”人生 風媒社 1996 年 12 月
 - 8 公共事業とコミュニケーション研究会著, 馬見塚達雄編 証言・長良川河口堰 対立する世論 錯綜するメディア 苦悩する行政
産経新聞社 2002 年 10 月

- ④ 1 菱田興一・昇 郡上職漁師のアマゴ釣り 山と溪谷社 1989年2月
 2 天野礼子 萬さと長良川 筑摩書房 1990年8月
 3 赤須賀漁業協同組合 未来に生きる赤須賀 2010年5月
 4 大橋 亮一・大橋 修・磯貝政司 長良川漁師口伝―僕んたァ、長良川の漁師に生まれてよかったなあ 人間社 2010年6月
- ⑤ 1 天野礼子他 長良川の一 山と溪谷社 1989年8月
 2 天野礼子・D.ブラウアー 長良川から見たニッポン 岩波書店 1993年10月
 3 北川石松・天野礼子編 巨大な愚行 長良川河口堰 政・官・財癒着の象徴 風媒社 1994年12月
 4 天野礼子編 21世紀の河川思想 共同通信社 1997年4月
 5 宮崎准 長良川讃歌 毎日新聞社 1991年6月
 6 佐藤智弘 サツキマスの川 長良川清流紀行 風媒社 1991年7月
 7 嶋聡史 長良川河口堰大洪水 総合行政出版 1992年1月
 8 渡辺斉 激流の長良川 エフエー社 1993年7月
 9 横山尚巳 サツキマスが還る日 【徹底検証】長良川河口堰の30年 山と溪谷社 2000年9月
 10 伊藤祐朔 終わらない河口堰問題 長良川に沈む生命と血税 築地書館 2013年8月
- 別 7 吉竹幸則 報道弾圧 東京書籍出版 リフレ出版 2011年12月
- ⑥ 1 長良川河口ぜきに反対する市民の会編 長良川河口堰 自然破壊か 節水か 技術と人間 1991年5月
 2 桑名と長良川河口堰を考える会（久徳高文） 長良川河口堰問題略年表 1992年6月
 3 ニゲハチ 河口堰関係・岐阜から見た年表
 4 村上哲生・西條八束・奥田節夫 河口堰 講談社 2000年4月
 5 伊藤達也・在間正史・富樫幸一・宮野雄一 水資源政策の失敗 長良川河口堰 成文堂 2003年10月
 6 伊藤達也 水資源開発の論理 その批判的検討 成文堂 2005年10月
 7 伊藤達也 木曽川水系の水資源問題 流域の統合管理を目指して 成文堂 2006年2月
 8 伊藤達也 水資源計画の欺瞞 木曽川水系連絡導水路計画の問題点 ユニテ 2008年5月
 9 近藤ゆり子 徳山ダム導水路はいらない！ 風媒社 2009年8月
 10 萩原良巳・坂本麻衣子 コンフリクト・マネジメント 水資源の社会リスク 勁草書房 2006年3月
 11 足立重和 郡上八幡 伝統を生きる 地域社会の語りとりアリティ 新曜社 2010年8月
 12 立石裕二 環境問題の科学社会学 世界思想社 2011年3月

- ⑦ 1 伊藤安男編 長良川をあるく 中央出版 1991 年 7 月
2 久保田稔 川と生きる 長良川・揖斐川物語 風媒社 2008 年 2 月
3 田口茂男 サツキマスのいた川 草土文化 1991 年 8 月
4 吉村朝之 長良川雑記帳 岐阜新聞出版局 1996 年 7 月
5 後藤亘 「生きる」長良川賛歌 岐阜新聞社 2008 年 5 月
6 岐阜新聞社 ぎふ海流 岐阜新聞情報センター 2010 年 11 月
7 NPO 法人 ORGAN 長良川清流白書 2015 年 3 月
8 笠木透・岩田健三郎 えほん 長良川 F・F・C ユニオン郡上 1997 年春
別 8 蔵治光一郎 長良川のアユと河口堰 農文協 2024 年 3 月

よみがえれ長良川

河口堰30年・開門調査実現を！



河口堰問題 年表と資料

シンポジウム 長良川河口堰運用30年

2025年7月6日 岐阜県図書館

よみがえれ長良川実行委員会

事務局:長良川市民学習会 <http://dousui.org/>

共同代表: 粕谷 志郎 (長良川市民学習会代表) / 亀井 浩次 (NPO法人 藤前干潟を守る会理事長)

〈参加団体〉

板取川自然探索・山童 / 公益財団法人 東海水産科学協会 海の博物館 / 河口堰に反対し、長良川を守る県民の会 / しじみプロジェクト桑名 / 「自然の権利」基金 / 設楽ダムの建設中止を求める会 / 瀬戸自然の会 / Sonne Garten (ゾンネガルテン) / 中部の環境を考える会 / 東海民衆センター / 導水路はいらない! 愛知の会 / 徳山ダム建設中止を求める会 / 長良川河口堰建設に反対する会・岐阜 / 長良川河口堰の水を考える住民の会 / 長良川市民学習会 / 長良川水系・水を守る会 / 名古屋市水辺研究会 / 名古屋水道労働組合 / NPO法人 藤前干潟を守る会 / NPO法人 みたけ・500万人の木曽川水トラスト / 山崎川グリーンマップ / 横越「遊水地」問題学習会 / 四日市ウミガメ保存会 / ラムサール・ネットワーク日本 / リニア・徳山ダム導水路を考える会 / リバーポリシーネットワーク

2015年7月5日 初版発行

2025年7月6日 増補版発行

●活動への支援カンパをお願いします。

〈振込先〉 ゆうちょ銀行 00840-3-158403
口座名称: 長良川市民学習会



表紙生物画:

後藤宮子「長良川中流の回遊魚」

元NPO法人ギンブナの会理事長 / 長良川中流魚類研究家。1925年(大正14年)岐阜県本巣郡根尾村生まれ。高校教師の傍ら研修員として京都大学に通う。関市下白金の長良川の分流・今川で1967年から30年間(長良川河口堰の運用開始直前まで)にわたり、夫(後藤正さん)と共に定置漁法「登り落ち漁」による魚類調査を続けた。回遊魚とは一生の中で川と海をまたいで生活し、子孫を残す魚のことです。川と海を自由に行き来できないと、回遊魚は成長することも子孫を残すこともできません。

1. アマゴ(サツキマス)
2. シマヨシノボリ
3. アユ
4. スマチチブ
5. オオヨシノボリ
6. ウナギ
7. ウキゴリ
8. アユカケ
9. カジカ

